移行起動ガイド

AWS Migration Hub

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

AWS Migration Hub: 移行起動ガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標とトレードドレスは、Amazon 以外の製品またはサービスとの関連において、顧客に混乱を招いたり、Amazon の名誉または信用を毀損するような方法で使用することはできません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

移行起動ガイド 1
Migration Acceleration Program (MAP) 2
MAP のタグ付けとは 2
のリソースにタグ付けするための一般的なベストプラクティス AWS 3
MAP タグ付けのベストプラクティス 3
MAP 2.0 顧客向けダッシュボード 4
MAP クレジットの対象となるタグなしサービスのモニタリング 4
移行プログラムの提供 6
移行計画 6
AWS Migration Hub ジャーニー 7
移行の配置 7
Cloud Center of Excellence (CCoE) 7
AWS パートナー 7
AWS プロフェッショナルサービス 8
AWS カウントダウンプレミアム 8
AWS Managed Services 8
移行ツール 9
ケーススタディ 9
ホワイトペーパーと AWS 規範ガイダンス 10
AWS Well-Architected ラボ 10
組織の準備状況 11
Cloud Center of Excellence (CCoE) 7
AWS クラウド導入フレームワーク (CAF) 12
クラウド準備状況評価 (CRA) 12
クラウド成熟度評価 (CMA) 12
クラウドオペレーション 13
クラウド運用の成熟度 13
追加リソース 13
クラウド財務管理と FinOps 14
運用準備状況 15
リソースの管理 15
モニタリングとオブザーバビリティ 15
セキュリティとコンプライアンス 16
バックアップ 17

最適化とコスト管理 17
教育と有効化 18
学習が必要な分析 18
AWS トレーニングと認定 18
AWS スキルビルダー 18
AWS GameDay 19
AWS ワークショップ 19
経験ベースの加速 19
サポート情報 20
移行に関するエキスパートのミーティング 21
リソース 23
Migration Acceleration Program (MAP) 23
移行プログラムの提供 23
組織の準備状況 25
運用準備状況 26
教育と有効化 27
ドキュメント履歴 28
..... xxix

移行起動ガイド

このガイドでは、 への移行またはモダナイズ AWS時にお客様がよく使用するリソースに関するガイダンスを提供します。このガイドは、「エクスペリエンスに圧縮アルゴリズムがない」(Andy Jassy、Amazon CEO) がすべて満たされた後、クラウド移行やモダナイゼーションのための規範的な実装ガイドとなるものではありません。このガイドは、 AWS 移行ジャーニーで顧客を積極的にサポートする、経験豊富な AWS カスタマーソリューションマネージャーチームによって準備されています。

移行起動ガイドでは、2 つのクラウドジャーニーが同じではないことを認識しています。そのため、技術トピックと非技術トピックの両方に関するガイダンスを提供し、組織が持つ可能性のあるさまざまなクラウド成熟度を考慮します。に参加している場合Migration Acceleration Program (MAP)、プログラムとそのオンボーディング要件の両方に関する有用な情報が表示され、その利点を最大限に活用できます。

の セクションでは、移行ジャーニーのフェーズ移行プログラムの提供について説明します。移行の計画方法、人員配置に関する考慮事項に関するガイダンスを提供し、移行を簡素化、自動化、ガイドするために使用できるいくつかのツールを理解できるようにします。

を使用して を進める組織の準備状況と AWS、クラウドジャーニーのどの段階にいるかを判断する方法に関するガイダンスが表示されます。組織の計画、スキル、ガバナンスの潜在的なギャップを特定し、自分にとって重要なことに集中できるツール。

クラウドオペレーションをすぐに開始するには、「」を参照してください運用準備状況。

のセクション教育と有効化では、組織が AWS ツールとサービスを最大限に活用するための最も有用なメカニズムを紹介します。

この移行起動ガイドで説明されているトピックに追加のサポートや詳細な説明が必要な場合は、「」を参照してくださいサポート情報。

クラウドへの移行について AWS エキスパートに問い合わせるには、カスタマーソリューションマネージャー (CSM) に通話を予約します。移行に関するエキスパートのミーティング を参照してください。

最後に、このガイドのすべての関連リンクを リソースセクションに照合しました。

Migration Acceleration Program (MAP)

AWS Migration Acceleration Program (MAP) は、お客様がクラウドに移行する際にサポートするプログラムです。MAP は、何千ものグローバルカスタマーをクラウドに移行した AWSの経験に基づいています。

MAP 入門ビデオは、〔英語] [フランス語] [イタリア語] 〔スペイン語] のいずれかの言語で視聴してください。

> **開始**
>
> AWS Migration Acceleration Program 2.0 の使用を開始する場合は、MAP クレジットの生成を開始するために必要な手順を以下に示します。
>
> 1. MAP タグ付け設定： AWS Billing > Cost Allocation Tags で MAP 2.0 に必要なタグキーをアクティブ化します。詳細については、 AWS Migration Acceleration Program 2.0 タグ付けガイドのAWS 「アカウント設定」および AWS Billing ユーザーガイドのAWS 「コスト配分タグの使用」を参照してください。
> 2. タグの選択： 適切な MAP 2.0 タグのキーと値の組み合わせを選択します。詳細については、 AWS Migration Acceleration Program 2.0 タグ付けガイドの「キーの組み合わせのタグ付け」を参照してください。
> 3. 移行されたワークロードのタグ付け： MAP 2.0 の対象となるサービスと のリストを参照してくださいthe section called “MAP タグ付けのベストプラクティス”。

MAP のタグ付けとは

タグは、リソースに関するメタデータを保持するために AWS リソースに適用するキーと値のペアです。タグ付けにより、組織はクラウドインフラストラクチャを大規模に簡単に分類および管理できます。タグ付けを使用して、可視性や制御のための新しいリソースコンストラクトを作成することもできます。例えば、タグ付けを使用して、ワークロードを構成するリソースをグループ化できます。MAP の利点を最大限に活用するには、移行したワークロードにタグを付ける必要があります。詳細については、「 AWS リソースのタグ付け」および「 でのタグ付けのガイダンス AWS」を参照してください。

MAP を初めてご利用になる場合は、AWS 「移行促進プログラム 2.0 タグ付けガイド」を参照してください。MAP クレジットの対象となるサービスのリストについては、 AWS 「移行促進プログラム 2.0 タグ付けガイド」の「MAP 2.0 の対象となるサービス」を参照してください。

次のいずれかの言語で MAP 動画のタグ付けを監視します: 〔英語〕〔フランス語〕 〔イタリア語〕〔スペイン語〕

のリソースにタグ付けするための一般的なベストプラクティス AWS

AWS ドキュメント: AWS リソースのタグ付け。

ブログ記事: への移行のために、大規模かつチーム全体のリソースタグ付けを最大化する AWS。

次のトレーニングビデオでは、 のリソースにタグを付ける方法について説明します AWS。

Vea el vídeo EtiquetAdobe decursos en AWS para mejorar operaciones en la nube en español。

MAP タグ付けのベストプラクティス

- によるタグ付け AWS CloudFormation：
  - CloudFormation Linter を使用してタグを適用できます。ルールを作成して特定のタグキーを適用し、パイプラインに linting ステップを含めることができます。詳細については、「」のAWS CloudFormation 「Linter」を参照してください GitHub。
  - AWS CFN スタックを作成または更新するときは、 AWS マネジメントコンソールで、または を使用してタグを設定します AWS CLI。 は、スタックで作成したすべての AWS リソースにこれらのタグを AWS CloudFormation 伝播します。詳細については、 AWS CLI コマンドリファレンスの「create-stack」および「update-stack」を参照してください。
- によるタグ付け AWS Config：
  - MAP 契約の署名後に作成された MAP 2.0 の対象となるリソースを特定してタグ付けするには、AWS Config コンフォーマンスパック を使用します。詳細については、「AWS Config」を参照してください。
- AWS 修復オプション：
  - を使用して AWS Config 、必要なタグのリソースをチェックするルールを作成し、それらのルールに対してリソースを継続的にモニタリングします。Amazon EventBridge で使用して、欠落しているタグ値に対する自動応答をトリガーします。例えば、Amazon SNS を介して E メールを送信するように設定できます。詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイ

ド」の「Amazon SNS での Amazon ス EventBridge ケジューラの使用」を参照してください。Amazon SNS

- その他のリソース：
  - サービスコントロールポリシー (SCPs)
  - リソース作成時にタグ付けを強制する
  - タグポリシー
  - 許可されるタグのキー/値の制限

MAP 2.0 顧客向けダッシュボード

MAP 2.0 ダッシュボードは、対象となる MAP 2.0 のお客様が MAP 移行の進行状況を追跡するためのセルフサービスメカニズムです。このダッシュボードは、2022 年 11 月以降に署名された MAP 2.0 契約の一部である支払者アカウントの請求コンソールで使用できます。このダッシュボードは、クレジットの最初のトランチを受け取ったお客様のみが使用できます。詳細とダッシュボードへのアクセス方法については、MAP 2.0 ダッシュボードユーザーガイドを参照してください。

MAP クレジットの対象となるタグなしサービスのモニタリング

ターゲット AWS リソースにタグを付けたら、移行の各管理アカウントでこれらのリソースがどの程度使用されているかを確認します。Cost Explorer を使用して、ターゲット AWS リソースのおおよその量を確認できます。これを使用して、MAP クレジットの対象となるがタグ付けされていない AWS サービスに関するレポートを作成することもできます。これを行うには、以下のフィルターを選択します。

レポートパラメータ	フィルター	設定
時間	日付範囲	日付範囲を指定する
時間	詳細度	詳細度を指定する
グループ化	ディメンション	必要に応じて、サービス、リンクされたアカウント、またはタグを選択します。
フィルター	サービス	non-MAP-2.0 対象外のサービスを除外する

レポートパラメータ	フィルター	設定
フィルター	使用タイプ	すべてのDataTransfer「」値を除外する
フィルター	使用タイプグループ	すべての「データ転送」値を除外する
フィルター	タグ	タグ付けされた支出またはタグ付けされていない支出のいずれかを表示するには、 を選択します。また、空白のままにして、「ディメンション」を使用して、タグ付けされた支出とタグ付けされていない支出の分割を表示することもできます。
詳細オプション	コストを 別に集計する	償却コスト
詳細オプション	追加データ設定	すべての のチェックを解除する

移行プログラムの提供

AWS では、評価、準備、移行とモダナイズの 3 つのフェーズで移行プロセスを実行することを推奨しています。これらのフェーズと、移行中に利用できるツールとサービスについては、「 の移行方法」を参照してください。より詳細なガイダンスと、移行戦略、ガイド、パターンについては、AWS 「 規範的ガイダンス」を参照してください。

移行計画

長時間実行されるクラウド移行プログラムでは、プログラムガバナンス、ランディングゾーン (セキュリティコントロールを備えた運用ターゲット環境) 、移行、アプリケーションポートフォリオなど、いくつかのワークストリームを調整する必要があります。アプリケーションポートフォリオ評価 (およびその後の移行計画) は、あらゆる移行プログラムの基本的な初期アクティビティを表します。このプロセスの詳細については、AWS 「クラウド移行用のアプリケーションポートフォリオ評価ガイド」を参照してください。

移行プロセスで定義されている AWS 移行の 3 つのフェーズを確認します。

1. 評価 ： 移行ジャーニーの開始時に、クラウドでの運用に対する組織の現在の準備状況を評価します。最も重要なのは、望ましいビジネス成果を特定し、移行のビジネスケースを策定することです。この目標を達成するために、 は AWS クラウド計画と移行のための方向性のあるビジネスケースの作成に役立つ無料のサービスである Migration Evaluator AWS を提供しています。詳細については、 AWS re:Invent 2020 の次の動画をご覧ください。移行計画の評価と加速。詳細については、「移行エバリュエーター」を参照してください。
2. の準備: 準備フェーズの一環として、移行計画を作成し、ビジネスケースを改善します。評価段階で特定されたギャップに対処して、ベースライン環境の構築 (「ランディングゾーン」) 、運用準備の促進、クラウドスキルの開発に重点を置いて組織をより適切に準備します。準備フェーズに関する次の動画をご覧ください: 高速クラウド移行 - AWS 仮想ワークショップ の動員方法をご覧ください。
3. 移行とモダナイズ: migrate-and-modernize フェーズの目標は、各アプリケーションを設計、移行、検証することです。詳細については、 AWS re:Invent 2022: AWS MAP を使用して移行、モダナイズ、成長する方法の動画をご覧ください。

AWS Migration Hub ジャーニー

AWS Migration Hub Journeys を使用して、移行の計画、実行、追跡を効率化します。Migration Hub Journeys のコアコンセプトは移行ジャーニーです。これにより、タスクのパイプライン、ツールとベストプラクティスの形式のガイダンス、進行状況を追跡する機能が提供されます。また、内部および外部の個人やチームを移行ジャーニーに招待して、タスクを実行し、移行について協力してもらうこともできます。移行ジャーニーを作成するには、 テンプレートの 1 つを使用できます。テンプレートは、一般的な移行シナリオを表し、ベストプラクティスに従います。独自のカスタム移行ジャーニーを最初から作成することもできます。詳細については、AWS 「Migration Hub Journeys ユーザーガイド」を参照してください。

移行の配置

移行を成功させるには、社内スタッフ、外部リソース、またはその両方の組み合わせを通じて移行プログラムを提供できます。移行を成功させるには、 AWS クラウドの専門知識が不可欠です。そのため、この初期段階で投資することが重要です。

使用を開始するには、「Engine and Enablement」を参照してください。

Cloud Center of Excellence (CCoE)

CCoE は、移行に向けて組織を準備するための出発点であり、単独で作業している組織またはパートナーと関係があります。パートナーまたは AWS プロフェッショナルサービスを利用して、CCoE の作成と成熟を加速することを選択できます。

CCoE を確立する重要性については、AWS re:Invent 2020 の次の動画をご覧ください。クラウドセンターオブエクセレンス を使用して組織の文化を変革する。

組織の準備状況における CCoE の役割については、この起動ガイドの「組織の準備状況」トピックを参照してください。

AWS パートナー

AWS コンピテンシーパートナープログラムは、実証済みの AWS 技術的専門知識と実績のあるカスタマーの成功を持つ AWS パートナーを特定、検証、促進するように設計されています。 AWS コンピテンシーパートナープログラムには、特定の業界、ユースケース、ワークロードにおけるデリバリーの実績のある記録を含むパートナーとサービスの広範なリストが含まれています。以下に、移行に関連する可能性のあるいくつかの問題を示します。

- AWS マネージドサービスプロバイダーパートナー
- AWS 移行コンピテンシーパートナー
- AWS Microsoft ワークロードコンピテンシーパートナー
- AWS SAP コンピテンシーパートナー
- AWS Oracle コンピテンシーパートナー
- AWS Mainframe Modernization コンピテンシーパートナー

AWS プロフェッショナルサービス

AWS プロフェッショナルサービスは、 AWS クラウドで望ましいビジネス成果を実現するのに役立つ AWS エキスパートのグローバルチームです。詳細については、「 AWS プロフェッショナルサービス」を参照してください。

AWS カウントダウンプレミアム

AWS Countdown Premium は、移行環境の検出と範囲の定義時に事前の技術ガイダンスを提供します。このガイダンスでは、お客様が計画、テスト、カットオーバー、ハイパーイメージングに備えます。また、 のエキスパートの AWS 知識を、お客様のスキルを高め、知識を強化できるプラットフォームと移行機能をカバーする技術ワークショップで活用することもできます。移行実行プラン中のトラブルシューティングを高速化し、サービスチームのエンゲージメントに関する技術的な問題の迅速なトラブルシューティングと解決を受けることができます。

AWS Countdown Premium は、コンテキスト認識を提供し、 サービスチームからの追加のヘルプが必要な場合でも、問題を解決できる指定されたエンジニアの支援を受け、信頼性の高い移行に役立ちます。

AWS Managed Services

AWS Managed Services (AMS) は、大規模 AWS に導入し、より効率的かつ安全に動作するのに役立ちます。AMS は標準 AWS サービスを活用し、環境やアプリケーションにコンテキストに応じた特殊な自動化、スキル、経験で運用のベストプラクティスのガイダンスと実行を提供します。イノベーションに集中できるように、AMS は、運用基準を高め、俊敏性を制約することなくリスクを軽減するプロアクティブ、予防、検出機能を提供します。AMS は、モニタリング、インシデント管理、AWS インシデント検出と対応、セキュリティ、パッチ、バックアップ、コスト最適化などの運用機能でチームを拡張します。

移行ツール

AWS 移行サービスの包括的なポートフォリオ、移行コンピテンシーパートナー、成熟したサードパーティの移行ツールエコシステムは、 AWS 機械学習に基づいて自動化とインテリジェントなレコメンデーションを提供し、3 フェーズの移行プロセスの各ステップを簡素化および高速化します。

re:Invent 2023 の次の動画では、 AWS ツールを使用して大規模な移行とモダナイゼーションを完了する方法について説明しています AWS。

スキルビルダーで移行ツールをカバーしている推奨無料コースについては、「 と有効化」を参照してください。

AWS Application Migration Service (Application Migration Service) は、オンプレミスや他のクラウドプロバイダーから にビジネスアプリケーションを簡単に移行するためのソリューションを提供します AWS。

のアーキテクチャについては AWS Application Migration Service、次の動画「アプリケーション移行サービス」をご覧ください。

AWS Database Migration Service（ AWS DMS) は、データベースと分析のワークロードを、ダウンタイムを最小限に抑え、データ損失を最小限に抑えながら、 AWS すばやく安全に に移行するのに役立つマネージド型の移行およびレプリケーションサービスです。 AWS DMS は、20 を超えるデータベースと分析エンジン間の移行をサポートします。

AWS re:Invent 2021 の次のビデオでは、 について説明しています AWS DMS: 移行サービスと SCT の詳細 AWS DMSAWS

ケーススタディ

AWS は、GE、Coca-Cula Company、BP、Enel、TAK NewsCorp、Twenty-First Century Fox などの企業を含む何千もの組織を支援し、IT コストを削減しながら、生産性、運用の耐障害性、ビジネスの俊敏性を向上させ、クラウドに移行してリソースを解放しています。

さまざまな業界、ワークロードタイプ、地域の移行導入事例を調べるには、 クラウド移行カスタマーポータルを参照してください。

ホワイトペーパーと AWS 規範ガイダンス

AWS では、 への移行に関するさまざまなビジネスケース AWS と AWS ベストプラクティスについて説明したホワイトペーパーを定期的に公開しています。これらのホワイトペーパーを見つけるには、「クラウド移行リソース」を参照してください。

AWS 規範的ガイダンスは、クラウド移行、モダナイゼーション、最適化のプロジェクトの迅速化に役立つ、テスト済みの戦略、ガイド、パターンを提供します。これらのリソースは、お客様が AWS でビジネス目標を達成するための長年の経験に基づいて、 AWS テクノロジーの専門家と AWS パートナーのグローバルコミュニティによって開発されました。これには、何百もの特定の移行シナリオが含まれています。例えば、「オンプレミスの Oracle データベースを Amazon RDS for Oracle に移行」と「 を使用して Amazon RDS for SQL Server テーブルを S3 バケットにエクスポートする AWS DMS」を参照してください。

AWS Well-Architected ラボ

AWS Well-Architected フレームワークでは、クラウドでワークロードを設計および実行するための主要な概念、設計原則、アーキテクチャのベストプラクティスについて説明します。フレームワークとその 6 つの柱については、AWS 「 Well-Architected」を参照してください。AWS Well-Architected Labs サイトには、アーキテクチャのベストプラクティスを使用して学習、測定、構築するのに役立つワークショップと実践的なラボのコレクションが含まれています。以下のラボは、Well-Architected フレームワークの AWS 6 つの柱を中心に構成されています。

1. オペレーショナルエクセレンス
2. セキュリティ
3. 信頼性
4. パフォーマンス効率
5. コスト最適化
6. 持続可能性

これらのラボは、 AWS アーキテクチャと運用のベストプラクティスに従って AWS インフラストラクチャを構築および評価するのに役立ちます。

AWS Well-Architected Framework の柱に関する動画をご覧ください。

次のオーディオブックを聞くこともできます: AWS Well-Architected Framework。

組織の準備状況

組織の準備状況は、クラウドの価値を最大化するための重要な要素です。ギャップを早期に評価し、適切な変革計画を立てる組織は、クラウドへの移行時にビジネス目標を達成できる可能性が非常に高いです。

顧客にとってクラウドの価値を実現するための最も一般的なブロッカーには、次のようなものがあります。

- 明確でアクティブなスポンサーシップの欠如
- 組織単位間のサイロ化されたワークフロー
- アーキテクチャのエンタング
- 未定義の運用モデル
- 分析パラメータ
- スキルとスキルのギャップ
- チームのずれ
- 非現実的な目標

では AWS、何千もの組織をクラウド導入に支援し、さまざまなフレームワークやツールを通じて経験とベストプラクティスを捉えています。

次のセクションでは、 クラウドセンターオブエクセレンスを通じて、クラウド導入を中心に重要な人材を整理する方法を紹介します。

次に、クラウドトランスフォーメーションを成功させるための 6 つの主要な組織能力と、組織が CAF の 6 つの視点に対する調整を測定するためのセルフサービス評価であるクラウド導入準備ツールについて説明します。

最後に、「クラウドオペレーション」セクションでは、組織がクラウドでワークロードを安全かつ確実に運用できるように、いくつかのリソースについて説明します。

Cloud Center of Excellence (CCoE)

Cloud Center of Excellence (CCoE) は、Cloud Enablement Engine (CEE) とも呼ばれ、大規模な企業に繰り返し可能なパターンを提供するような方法で、クラウド導入に必要なガバナンス、

ベストプラクティス、トレーニング、アーキテクチャを実装する役割を持つ複数分野のチームです。CCoE チームは、 クラウドビジネスオフィス (CBO) と クラウドプラットフォームエンジニアリング (CPE) で構成され、 クラウドエグゼクティブチームによって管理されます。チームは、グローバル、ローカル、フェデレーションのいずれかです (ただし、一部の機能はローカルで、他の機能はグローバルである場合があります) 。移行コンテキストでは、CCoE は通常、準備フェーズ で開始されます。その他のリソースについては、「文化、変化、リーダーシップによるクラウド導入の促進」を参照してください。動画「クラウド変換中の組織の変化と文化的な影響を管理する方法」も視聴できます。

AWS クラウド導入フレームワーク (CAF)

AWS クラウド導入フレームワーク (AWS CAF) は AWS 、経験とベストプラクティスを活用して、の革新的な活用を通じて、デジタル変革とビジネス成果の加速を支援します AWS。AW AWS S CAF は、クラウドトランスフォーメーションを成功させる基盤となる特定の組織能力を特定します。これらの機能は、クラウドの準備状況の改善に役立つベストプラクティスガイダンスを提供します。AWS CAF は、ビジネス、人材、ガバナンス、プラットフォーム、セキュリティ、運用の 6 つの視点でその機能をグループ化します。各視点は、クラウドトランスフォーメーションジャーニーにおいて、機能的に関連する利害関係者が所有または管理する一連の機能で構成されています。 AWS CAF を使用して、変革の機会を特定して優先順位を付け、クラウドの準備状況を評価して改善し、変革ロードマップを繰り返し進化させます。

クラウド準備状況評価 (CRA)

組織がクラウドジャーニーのどの段階にいるかにかかわらず、クラウドの準備状況を評価するのに遅すぎることはありません。AWS クラウド準備状況評価 (CRA) は、クラウドの準備状況を評価し、6 つの視点にわたって AWS CAF 機能に対するギャップと機会を特定するための無料のセルフサービスのオンライン評価ツールです。その結果、組織がクラウド導入のメリットを最大限に活用するのに役立つ推奨アクションを含む詳細なレポートが作成されます。

クラウド成熟度評価 (CMA)

AWS CMA は、時間の経過に伴う顧客のクラウドトランスフォーメーションの導入を追跡する成熟度モデルです。 AWS CAF の基本的な組織機能を使用して、組織がクラウドを活用してクラウドでデジタル変革する能力を支えています。これは、リスクを特定し、顧客目標を達成するためのエンゲージメントとリスク軽減計画を作成するために、組織からの情報 AWS とともに によって主導される評価です。結果は時間の経過とともに追跡されるため、ベンチマークできるため、意思決定の

重要な入力として使用できます。 AWS アカウントチームに連絡するか、移行エキスパートと直接会議を予約して、CMA 評価プロセスを順を追って説明します。

クラウドオペレーション

クラウドでのアプリケーションの運用は、オンプレミスでの運用 (お客様自身のデータセンター内かコロケーション内かにかかわらず) とは異なります。クラウド移行ジャーニーでは、組織はクラウド運用モデルに徐々にピボットしていきます。Well-Architected フレームワーク - オペレーショナルエクセレンスの柱は、アプリケーションエンジニアリングと運用 (AEO) チームとインフラストラクチャエンジニアリング運用 (AEO) チームに基づいてクラウド運用モデルを設計する場合に非常に役立ちます。クラウド運用モデルの詳細については、「クラウド運用モデルによる高速変換」の動画をご覧ください。

クラウドでの運用に必要な機能に関するその他のガイダンスについては、AWS 「クラウド導入フレームワーク: 運用状況」を参照してください。

AWS 定義に従って独自のクラウド運用モデルを構築する方法に関する規範的なガイダンスについては、「クラウド運用モデルの構築」を参照してください。構築するプラットフォームがアプリケーション開発チームのサポートに有効であることを確認する方法のヒントについては、「開発チームを効果的にサポートするプラットフォームを設定する方法」を参照してください。

クラウド運用の成熟度

Well-Architected Tool を活用して、クラウド運用の成熟度を評価および改善できます。このツールを使用すると、チームは AWS 、 Well-Architected フレームワークのオペレーショナルエクセレンスとセキュリティの柱のベストプラクティスに照らして、特定のアプリケーションを簡単にレビューできます。

クラウドオペレーションは、AWS GameDays 、AWS ワークショップ、テーブルトップシミュレーション、 Well-Architected Labs を使用して改善できます。詳細については、「Engine and Enablement」トピックを参照してください。

追加リソース

re AWS :Invent 2022: AWS クラウドオペレーションによる変換: ビジョンから現実への動画をご覧ください。

次の 2 部構成のブログでは、運用の一元化と自動化、 AWS クラウド運用サービスによるガバナンスと可視性の向上に役立つ基本的なツールを提供しています。AWS 「クラウド運用サービスによるクラウドの可視性とガバナンスの向上 — パート 1 とパート 2」。

クラウド財務管理と FinOps

クラウドでのリソースの価格設定と消費に関するプロセスを理解することは、移行中に開発する必要がある重要な機能の 1 つです。AWS クラウド財務管理は、クラウド財務管理機能と を開始および進化する方法に関する初期リソースとガイダンスを見つけるのに役立ちます FinOps。このトピックについて詳しくは、以下の AWS re:Invent ビデオをご覧ください。このビデオでは、 からドルと意味を得られるというプラクティスについて説明しています FinOps。

顧客の導入事例については、「コストを考慮した文化を構築することで Cvent が 2 年未満で 300 万 USD 以上を節約する方法」を参照してください。

運用準備状況

すべての組織とそのデジタルトランスフォーメーションを成功させるには、運用に対する成功のアプローチが不可欠です。変革が目的を達成し、アプリケーションがビジネス成果とユーザーの期待を一貫して満たすようにするには、オペレーショナルエクセレンスが必要です。このトピックは、 オペレーションをすぐに開始できるようにすることを目的としています。

リソースの管理

オーケストレーションツールを使用して、オートメーションを管理、設定、パッチ適用、および使用します。

AWS Systems Manager： AWS Systems Manager 高速セットアップを使用すると、組織全体の Amazon Elastic Compute Cloud インスタンスで必要なセキュリティロールと一般的に使用される Systems Manager 機能をすばやく設定できます。

Systems Manager の機能の一部を次に示します。

- AWS Systems Manager Session Manager を使用すると、インバウンドポートを開いたり、踏み台ホストを維持したり、SSH キーを管理したりすることなく、Linux または RDP から Windows インスタンスに SSH 接続できます。
- AWS Systems Manager Distributor を使用すると、独自のソフトウェアをパッケージ化して公開したり、 などの AWSが提供するエージェントソフトウェアパッケージ AmazonCloudWatchAgentや Trend Micro などのサードパーティーパッケージを検索して公開したりできます。
- AWS Systems Manager Patch Manager を使用すると、セキュリティ関連の更新と他のタイプの更新の両方でマネージドノードにパッチを適用するプロセスを自動化できます。

モニタリングとオブザーバビリティ

インフラストラクチャとアプリケーションにオブザーバビリティを実装して、その状態を理解し、ビジネス要件に基づいてデータ駆動型の意思決定を行うことができます。

- Amazon CloudWatch メトリクス: Amazon EC2、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS)、Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) などの AWS サービスでは、パフォーマンスデータを基本モニタリングメトリクスで無料で一元化できます。詳細については、「Amazon CloudWatch ユーザーガイド」のAWS CloudWatch 「メトリクスを発行する のサービス」を参照してください。

- CloudWatch Dashboards : すべての AWS サービスの主要メトリクスを確認する方法については、「ビルド済みのクロスサービスダッシュボード」を参照してください。自動ダッシュボードを使用して 1 つの AWS サービスでメトリクスとアラームに焦点を合わせる方法については、「単一の AWS サービス用の事前構築済みダッシュボードを表示する」を参照してください。サービスチームにとって最も重要なメトリクスは、自動ダッシュボードで使用されます。これらのメトリクスを独自のダッシュボードの開始点として使用します。
- CloudWatch ログ: のサービスからのログを一元化、管理、分析する方法については、「Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド」の「 AWS のサービスからのログ記録を有効にする」を参照してください。 AWS
- CloudWatch アラーム: メトリクスアラームは、単一の CloudWatch メトリクス、または CloudWatch メトリクスに基づく数式の結果を監視します。アラームは、複数の期間にわたる閾値に対するメトリックまたはメートルの値に基づいて、1つまたは複数のアクションを実行します。アラームを作成して使用する方法については、「Amazon CloudWatch アラームの使用」を参照してください。
- CloudWatch エージェント : 高速セットアップの一部として CloudWatch エージェントをインストールし、インスタンスメトリクスとログを に送信します CloudWatch。 AWS Systems Managerこれらのメトリクスとログを AWS サービスメトリクスとログとともに使用して、インフラストラクチャとアプリケーションのダッシュボードとアラームを作成します。
- AWS CloudTrail: CloudTrail は、作成 AWS アカウント 時に でアクティブになるため、手動セットアップは必要ありません。でアクティビティが発生すると AWS アカウント、そのアクティビティは CloudTrail イベントに記録されます。チュートリアル: イベント履歴の AWS アカウント アクティビティを確認する

クロスアカウントオブザーバビリティのモニタリングアカウントを設定します。この方法については、「Amazon ユーザーガイド」の「モニターリングアカウントをソースアカウントにリンクする CloudWatch 」を参照してください。

セキュリティとコンプライアンス

AWS 環境のセキュリティとコンプライアンスを確認することが最優先事項です。

- AWS Security Hub: Security Hub は、 のセキュリティ状態を包括的に把握 AWS し、セキュリティ業界標準およびベストプラクティスに照らして AWS 環境を評価するのに役立ちます。セットアップして使用する方法については、「 AWS Security Hub ユーザーガイド」の「Security Hub の有効化」を参照してください。

- AWS Config: AWS Config 内の AWS リソースの設定の詳細ビューを提供します AWS アカウント。これには、リソース間の関係と設定の履歴が含まれるため、時間の経過と共に設定と関係がどのように変わるかを確認できます。 AWS Config を使用して、 AWS リソースの設定を評価、監査、評価します。設定方法については、「 AWS Config デベロッパーガイド」の「 の開始 AWS Config方法」を参照してください。

動画: 基本に戻る: AWS Configとコンフォーマンスパックを使用して AWS リソースを最適化する

バックアップ

AWS Backup はフルマネージド型のサービスで、 AWS のサービス、クラウド内、オンプレミス間のデータ保護を一元化および自動化するのに役立ちます。詳細については、「 AWS Backup デベロッパーガイド」の「 の開始 AWS Backup方法」を参照してください。

最適化とコスト管理

パフォーマンスとセキュリティを損なうことなく、コスト効率を高めるために AWS 使用量を最適化します。

- AWS Cost Explorer: これは、経時的な AWS コストと使用状況を視覚化、理解、管理するために使用できるツールです。有効にして使用する方法については、「 AWS Cost Management ユーザーガイド」の「 によるコストの分析 AWS Cost Explorer」を参照してください。
- AWS Trusted Advisor: Trusted Advisor 数十万の AWS 顧客を支援することで得られたベストプラクティスについて説明します。 AWS 環境を検査し、コストの削減、システムの可用性とパフォーマンスの向上、セキュリティギャップの解消に役立つ機会がある場合には、レコメンデーションを作成します。詳細については、「 ユーザーガイドAWS Trusted Advisor」の AWS サポート 「」を参照してください。
- AWS Compute Optimizer: これは、 AWS リソースの設定とその使用率メトリクスを分析して、適切なサイズのレコメンデーションを提供するサービスです。Compute Optimizer を使用すると、人工知能と machine-learning-based 分析を通じてワークロードの好みに応じてワークロードのサイズを適切に設定し、コストを最大 25% 削減できます。 CloudWatch エージェントによって収集されたメモリメトリクスを使用することで、EC2 インスタンスの適切なサイズ設定に関する推奨事項が改善されます。詳細については、「 の開始方法 AWS Compute Optimizer」を参照してください。

教育と有効化

教育と有効化は、従業員が変化に適応するために必要な知識、スキル、考え方を持ち、変革プロセスに効果的に貢献し、最終的には組織が戦略的目標を達成できるようにすることで、クラウドトランスフォーメーションにおいて基本的な役割を果たします。

このページには、組織が AWS ツールとサービスを最大限に活用するための最も一般的に使用されるメカニズムが含まれています。

学習が必要な分析

無料のセルフサービスツールである AWS Learning Needs Analysis を使用して、組織のクラウドスキルギャップを特定できます。

AWS トレーニングと認定

AWS トレーニングと認定では、クラウドの専門知識を検証し、 プロフェッショナルがオンデマンドのスキルと組織が を使用してクラウドイニシアチブのための効果的で革新的なチームを構築するのを支援します AWS。個人やチームが独自の目標を達成できるように設計された役割や専門分野ごとに、さまざまな認定機関から選択します。

AWS 「トレーニングと認定 — AWS クラウドスキルと信頼の構築」の動画をご覧ください。

AWS スキルビルダー

AWS スキルビルダーは、 AWS トレーニングと認定のための場所です。ロールまたはテクノロジー分野別にラーニングパスを検索し、ビデオ、チュートリアル、ドキュメントのプレイリストを参照してスキルを向上させることができます AWS 。スキルビルダーは現在、無料で 600 を超えるコースを持っています。 AWS スキルビルダーの個人またはチームのサブスクリプションでは、実践的な移行スキルの開発に役立つ実践的なガイド付き演習を提供するAWS ビルダーラボにもアクセスできます。

AWS スキルビルダーに関する動画をご覧ください。

移行する組織を技術的に AWS 準備するための推奨開始点は、移行基盤のラーニングパスです。これには、学習計画、ランプアップガイド、評価、および次のデジタルバッジが付属しており、評価に合格した後にレコメンデーションに含めたり、雇用主と共有したりすることができます。

AWS GameDay

GameDay は共同学習の演習で、 ソリューションの実装 AWS に関するスキルをテストし、リスクのない既知の問題を解決します。これは、技術専門家が A AWS WS サービス、アーキテクチャパターン、ベストプラクティス、およびグループの協力を試すための完全に実践的な機会です。

今後公開される については、 AWS GameDay ウェブサイトを参照してください GameDays。これは、高機能で競争的な方法で提供される実践的な技術トレーニングです。新しいサービスを安全に試し、共同での問題解決を促進するために使用できます。

AWS トレーニングと認定の監視 — AWS クラウドスキルと信頼の構築。

AWS ワークショップ

ワークショップは、ビジネス上の問題を解決するために使用できる実践的なスキル、テクニック、または概念を教えたり、導入したりするために設計された実践的なイベントです。

次の動画をご覧ください: Accelerating Learning with AWS Workshops。

経験ベースの加速

Experience-Based Acceleration (EBA) は、特定のクラウド目標を達成するための実践的でアジャイルなアプローチです。これは、組織のクラウドジャーニーに対する摩擦点や障害に対処することを目的とした「EBATAK」と呼ばれるワークショップで使用します。これらの関係者では、顧客とパートナーのビルダーは、新しい作業方法とコラボレーション方法を開発しています。インタラクティブで没入的な設定でベストプラクティスを学習しながら、問題を解決します。 AWS アカウントチームに連絡するか、移行エキスパートと直接会議を予約して EBA オプションについてディスカッションしてください。

EBA の概要については、次の動画をご覧ください: EBA について知る。

サポート情報

AWS サポート は、パフォーマンスの最適化、コストの削減、迅速なイノベーションをプロアクティブに支援するように設計されたツールとテクノロジー、人材、プログラムを混在させています。クラウドへの移行を加速させ、コアビジネスに集中できるようにすることで、チームの時間を節約できます。お客様がクラウドジャーニーを成功させ、ベストプラクティスの質問への回答、設定に関するガイダンス、解決方法、問題解決まで、さまざまなリクエストに対応することにしました。

を使用してサポートケースを作成し、オープンケースを管理する方法については AWS、「 AWS サポート ユーザーガイド」の「サポートケースとケース管理の作成」を参照してください。このガイドでは、プロセスと、顧客のアカウントと請求に関する質問の具体的な例について説明します。

AWS エンタープライズサポートは、成果を達成し、クラウドで成功を見つけることを主な目的とする、ブランドのようなサービスを提供します。エンタープライズサポートでは、高品質のエンジニア、ツール、テクノロジーから 24 時間 365 日体制でテクニカルサポートを受け、環境の状態を自動的に管理できます。また、テクニカルアカウントマネージャー (TAM) にもアクセスできます。テクニカルアカウントマネージャーでは、アプリケーションやユースケースのコンテキストで提供される、アーキテクチャや運用に関する相談的なガイダンスを提供し、 から最大限の価値を引き出すことができます AWS。

移行に関するエキスパートのミーティング

組織はクラウドに移行し、開始方法や移行およびモダナイゼーション活動に関する質問はありますか？ クラウドトランスフォーメーションジャーニーのサポートを得て、特定の質問に対処するには、 MigrationTAK でコールを AWS スケジュールします。

Getting started with your migration

単なるクラウドへの移行ではなく、 でワークロードを変革 AWS し、経験と実績のあるソリューションを活用して、移行とモダナイゼーションのジャーニーのあらゆる段階で成功を推進します。

カスタマーソリューションマネージャー

カスタマーソリューションマネージャー (CSM) は、クラウドへの複数年にわたるジャーニーを通じて AWS 顧客をガイドします。CSMs、 AWS クラウドジャーニーを成功させるための運用、教育、ガバナンスの側面をお客様にガイドします。クラウドジャーニーを開始する方法の詳細については、 AWS エキスパート との通話をスケジュールしてください。

Migration Acceleration Program (MAP)

MAP の概要

AWS Migration Acceleration Program (MAP) は、何千もの企業顧客をクラウドに移行した AWS経験に基づく包括的で実績のあるクラウド移行プログラムです。企業による移行は複雑で時間がかかる場合がありますが、MAP は成果重視の方法論により、クラウド移行とモダナイズの取り組みを加速させるのに役立ちます。詳細については、 エキスパート と通話を AWS スケジュールしてください。

MAP タグ付け

AWS タグは AWS コストの把握と管理に役立ちますが、 AWS リソースに追加を開始する前に、タグを持続的に管理するのに役立つ戦略を作成することが不可欠です。タグ付けのベストプラクティス、戦略、自動化に関するエキスパートのガイダンス、および意思決定と運用活動をサポートするタグ付けの一貫性とカバレッジを確保するために、 エキスパートにコールを AWS スケジュールします。

MAP クレジット

MAP プログラムの一部は、 AWSの移行への投資です。当社の AWS エキスパートは、対象となる支出の追跡と管理を支援し、移行促進プログラムを最大限に活用するのに役立ちます。エキスパート との通話を AWS スケジュールします。

Enablement

移行ビジネスケース

移行を成功させるには、強力なビジネスケースを通じてステークホルダーの賛同を得ることが重要です。の移行ビジネスケースソリューションは、クラウドに移行するためのデータ駆動型のビジネスケースを設計する AWS のに役立ちます。これらのソリューションでは、技術的な考慮事項を考慮した詳細な財務計画を作成するため、ステークホルダーに適切なガイダンスを提供できます。エキスパート との通話を AWS スケジュールします。

クラウド財務管理

クラウドでは、固定費 (データセンターや物理サーバーなど) を変動費と交換し、使用した IT に対してのみ支払いを行うことができます。また、規模という特徴があるため、変動費は自分で支払う金額よりもはるかに低くなります。クラウドに住んでいても、クラウドへの移行ジャーニーを開始したばかりであっても、 AWS には支出の管理と最適化に役立つ一連のソリューションがあります。AWS エキスパート との通話をスケジュールします。

クラウドセンターオブエクセレンス

デジタルトランスフォーメーションを成功させるには、データを単純にデジタイズし、クラウドに移行する必要があります。このプロセスには、企業のニーズ、組織、文化の進化を含める必要があります。組織は、クラウドで成功するためには、人材、プロセス、テクノロジーを変革する必要があります。エキスパート との通話を AWS スケジュールします。

リソース

このページには、「移行起動ガイド」で参照されているリンクが集約され、より迅速にアクセスできます。

Migration Acceleration Program (MAP)

- MAP ホームページ
- MAP 〔英語〕 [フランス語] [イタリア語〕 〔スペイン語〕 について説明する紹介ビデオ https://d2cwqplnsdeec3.cloudfront.net/ES-Video1-WelcomeMAP2.mp4
- AWS Migration Acceleration Program 2.0 タグ付けガイド
- MAP クレジット対象サービスのリスト
- MAP のタグ付けを開始する方法に関する動画 〔英語] [フランス語] [イタリア語] 〔スペイン語]
- AWS ドキュメント: AWS リソースのタグ付け
- ブログ記事: への移行のために大規模かつチーム全体のリソースタグ付けを最大化する AWS
- AWS〔英語] [スペイン語] のリソースにタグを付ける方法を説明するトレーニングビデオ
- によるタグ付け AWS CloudFormation
- AWS Config コンフォーマンスパック
- サービスコントロールポリシー (SCP)
- リソース作成時のタグ付けの適用
- タグポリシーユーザーガイド
- 許可されるタグのキー/値の制限
- MAP 2.0 顧客向けダッシュボードのユーザーガイド

移行プログラムの提供

- AWS クラウド移行ウェブサイト
- Mobilize your organization to accelerate large-scale migrations
- 大規模な移行ガイドライン
- MAP 移行プロセス
- アプリケーションポートフォリオ評価戦略

- ポートフォリオ評価ガイド
- AWS 移行プロセスとそのフェーズ
- Migration Evaluator に関する動画
- 準備フェーズに関する動画
- AWS Migration Hub ジャーニー
- AWS MAP を使用して移行、モダナイズ、成長する方法
- CCoE を確立する重要性に関する動画
- AWS コンピテンシーパートナープログラム
- マネージドサービスプロバイダー (MSP)
- AWS 移行パートナー
- AWS Windows のパートナー
- AWS SAP のパートナー
- AWS Oracle のパートナー
- AWS メインフレームのパートナー
- AWS プロフェッショナルサービス (ProServe)
- AWS カウントダウン
- AWS Managed Services (AMS)
- AWS インシデントの検出と対応
- AWS Migration Hub
- サードパーティーの移行ツールエコシステム
- による大規模な移行とモダナイゼーションを完了する AWS （動画）
- AWS Application Migration Service （アプリケーション移行サービス)
- に関する動画 AWS Application Migration Service
- 移行の基礎 - ナレッジバッジ
- AWS Database Migration Service (AWS DMS)
- に関する動画 AWS Database Migration Service
- AWS 規範ガイダンスの出版物
- AWS お客様の導入事例
- AWS ホワイトペーパー
- AWS 規範的ガイダンスポータル

- AWS Well-Architected フレームワーク
- Well-Architected ラボ
- AWS Well-Architected Framework のホワイトペーパーのオーディオブック
- AWS Application Migration Service ワークショップリポジトリ

組織の準備状況

- AWS クラウド導入フレームワーク
- CAF に関する完全なドキュメント
- AWS クラウド導入準備ツール (CART)
- クラウド有効化エンジン (CEE)
- CCoE 機能
- 人材の視点
- 準備段階での CCoE の役割
- Organizational Change Management に関する短い動画
- クラウドビジネスオフィス (CBO)
- クラウド運用モデル
- コンテナプラットフォームを運用するようにチームを整理する方法
- クラウドオペレーションの概念に関する動画
- CAF オペレーションの視点
- Well-Architected フレームワーク - オペレーショナルエクセレンスの柱
- ソース運用モデルを特定するための 2x2 図
- クラウド運用モデルを作成するための規範的なガイダンス
- プラットフォームチームがアプリケーション開発チームを効果的にサポートできるようにするためのヒント
- Well-Architected ツール
- テーブルトップシミュレーション
- Well-Architected Labs でのオペレーショナルエクセレンス
- re:Invent 2022 - AWS クラウドオペレーションによる変換: ビジョンから現実へ
- AWS クラウドオペレーションサービスによるクラウドの可視性とガバナンスの向上 – パート 1
- AWS クラウドオペレーションサービスによるクラウドの可視性とガバナンスの向上 – パート 2

- AWS クラウド財務管理
- クラウド財務管理機能
- クラウドバリューフレームワーク
- クラウド FinOps: ドルと意味を消す FinOps（ビデオ）
- Cvent がクラウド財務管理機能をどのように開発したかに関する顧客導入事例

運用準備状況

- AWS クラウド導入フレームワーク: オペレーションの視点
- オペレーショナルエクセレンスの柱 - AWS Well-Architected フレームワーク
- AWS ホワイトペーパー - クラウドにおける変更管理
- の管理とガバナンス AWS
  - AWS Systems Manager
  - Amazon CloudWatch
  - AWS CloudTrail
  - AWS Security Hub
  - AWS Config
  - AWS Backup
  - AWS Cost Explorer
  - AWS Trusted Advisor
  - AWS Compute Optimizer
- によるクラウド財務管理 AWS
- AWS クラウド運用と移行のブログ
- AWS セキュリティブログ
- AWS スキルビルダー - 管理とガバナンス
- AWS スキルビルダー - セキュリティ、アイデンティティ、コンプライアンス
- AWS 基本的なビデオプレイリストに戻る
- AWS ワークショップ
  - 1 つのオブザーバビリティワークショップ
  - Security Hub ワークショップ
  - Trusted Advisor の自動修復ワークショップによる運用上の優秀性

教育と有効化

- AWS 学習ニーズ分析
- AWS トレーニングと認定
- AWS トレーニングと認定に関する動画
- AWS スキルビルダー
- AWS スキルビルダーに関する動画
- AWS GameDay
- に関する動画 AWS GameDay
- AWS ワークショップ
- AWS ワークショップによる学習の加速に関する動画
- ブログ - エクスペリエンスベースのアクセラレーション (EBA) でクラウド変換をレベルアップする
- EBA を紹介するビデオ

Migration Launch Guide のドキュメント履歴

次の表は、 移行起動ガイドのドキュメントリリースの説明です。

変更	説明	日付
初回リリース	Migration Launch Guide の初回リリース。	2024 年 4 月 11 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。